台湾観光

639
2025
JAN·FEB

日本語版
www.tva.org.tw

特集：光を観る旅へ
2025台湾ランタンフェスティバル@桃園
熱狂的なパレード
媽祖の巡行
愛しの発酵食
台湾の酸っぱ鍋
高雄再発見
ハマセン復航



熱気と感動が漲る

台湾の旧正月

TAIWAN LANTERN FESTIVAL in TAOYUAN

2025 台灣燈會 Taiwan Lantern Festival

2025 台灣燈會 in 桃園



主燈展演場
◎A18高鐵桃園站
2.12 WED.(開燈日)
-2.23 SUN.

光的遊戲場◎A19桃園體育園區站
2.07 FRI.-2.23 SUN.

TAIWAN WAVES OF WONDER

交通部觀光署 Tourism Administration, MOTC

桃園市政府 TAOYUAN CITY GOVERNMENT

台湾観光

639

創刊期日 1967 / 8 / 25
発刊期日 2025 / 1 / 1
定価 NT$180



cover photo ／吳俊諺

「白沙屯媽祖北港進香」。毎年の天数やルートが神明によって、決められるため固定されておらず、通常は毎年 3 月から 4 月の間に行われます。



p.004



p.026



p.030

FEATURES

004 Cover Story
光を観る旅へ：
2025 台湾ランタンフェスティバル@桃園

018 町さんぽ
国民的女神に追随する歩みは、
信仰の純粋な力を物語る

024 特企
大稲埕で旧正月用品を揃えよう
お土産おすすめ 10 選

026 島旅デビュー
100 年前の鉄道風景を感じる！
高雄・哈瑪星鉄道文化園区

030 愛しの台湾味
あつあつの発酵鍋を味わおう
冬の定番：酸白菜鍋

034 SPORTY TAIWAN
ランニングで感じる
台湾の土地、そしてユニークな人情
台湾マラソン競技のすすめ

INFORMATIONS

036 コラム——果物屋：懐かしさいっぱいの台南老舗かき氷屋
039 コラム——台湾・風景・詩
040 コラム——FOUNTAIN 新活水　第 19 回
042 数字でみる台湾観光情勢

会長・発行人／簡余晏
栄誉会長／葉菊蘭
副会長／蘇成田、凌瓏、莊豐如
編集顧問／鐘逸寧、陳婷妤、張仲宇、劉宇庭
発行所／財団法人台湾観光協会
台北市忠孝東路 4 段 285 号 8F-1
TEL +886-2-2752-2898
FAX +886-2-2752-7680
E-mail yasir@tva.org.tw
https://www.tva.org.tw

台湾観光協会東京事務所
日本国東京都港区西新橋 1 丁目 5-8 川手ビル 3F
TEL +81-3-3501-3591 ～ 2
FAX +81-3-3501-3586
E-mail tyo@go-taiwan.net

台湾観光協会大阪事務所
日本国大阪市北区西天満 4 丁目 14 番 3 号 6F
TEL +81-6-6316-7491
FAX +81-6-6316-7398
E-mail osa@go-taiwan.net

制作／故事 StoryStudio
編集長／涂豐恩
編集統括／林家豪
編集協力／羅健宏、張妤瑄
デザイナー／郭苓玉、陳芳儀
コンサルタント／鳳氣至純平
特約作者／毛奇、黃朱平、林芷婕、何昱泓
翻訳者／統一數位翻譯、賴英泰、吳珈璇
プロジェクトマネージャー／冉揚

台北市承德路一段 8 號 7 樓 -1
TEL +886-2-2369-5966
E-mail contact@storystudio.tw
https://storystudio.tw/
印刷／經緯印藝實業有限公司

中華民国交通部観光署
E-mail tad@tad.gov.tw
https://taiwan.net.tw
https://jp.taiwan.net.tw/

本誌「台湾観光」は財団法人台湾観光協会が出版し，版権を所有しています。転載の場合は事前に当協会へお問い合わせください。

たった今ゴマの白玉を食べたばかりで、口の中には、あの甘い香りと温かみが残っている。道端で子どもが手にしている、小さな蛇の形をしたランタンがゆらゆらと揺れ、夜の暗闇の中にきらめいて、まるで極地の上の星屑のように見える。元宵節の色とりどりのランタンが、流れゆく絵画のように目に映る。

今回のカバーストーリーでは、光と同行する旅程へと踏み出して、元宵節の魅力を一緒に探索してみよう。ランタンが光り輝く祭典を通じて、台湾の夜の輝く瞬間にお連れして、各地の特色あるランタンフェスティバルを探索し、光と影の織りなす美しいストーリーを発掘しようと思う。同時に、来年の元宵節の時期に、桃園に来て我々と共に、この温もりと楽しさに満ちた祝日を一緒に過ごすようおすすめする。台湾のきらめく光と人情味をぜひ体感していただきたい。

千綺美麗旅へ





光を観る

text／何昱泓・編集部　photo／Kris Kang・吳俊諺・林睿洋・毛奇・月津港燈節



COVER STORY

01

光の旅行がはじまる前に

台湾元宵文化案内

外国の旅行客が台湾に来るとき、一般的には、ありとあらゆる絶品のストリートフードを体験したり、アンティーク調の旧市街建築物を鑑賞することが目的だったりする。しかし、ある「祝祭日」をおすすめして、特色あるグルメ、活気を感じさせる人混み、さらには文化的意味合いを持つ民間の祭典に参加してもらうとしたら、「元宵節」は、決して見逃せない選択肢のひとつである。

旧暦正月15日の元宵節は、伝統的な春節の最終日であるだけでなく、ほとんどの人が休暇から仕事に復帰し、店もほとんど営業を再開している。春節の休暇中とは異なり、旅行客は台湾の祝祭日の独特な雰囲気を存分に楽しむことができる。また、この「満月の夜」に込められた中華文化の奥深い影響を感じながら、その象徴的な意義について理解を深める絶好の機会でもある。

元宵節の由来と習俗

日本にも正月15日の「小正月」という祝祭日があるが、これは元宵節のもつ文化的意味合いとは非常に異なるものである。「上元節」という別名を持つ元宵節の歴史が長く、その由来は諸説紛紛としている。一説では、道教の神の誕生日とか、仏教でランタンをともして仏を敬うことと関係があるとされている。これらは民間信仰と融合し、時代を経る中で形を変えな

がら発展し、現在のように広く知られる祝祭日となった。

歴史の長い民俗的祝祭日として、元宵節にもいくつか興味深い言い伝えがある。例えば、天をつかさどる玉皇大帝が、天の神を見守る神聖なガチョウが漁師によって殺されてしまったため、天から兵を遣わして人間を焼き払うよう命令した。しかし、人類の行く末を憐れんだ女官によってその知らせが漏れ伝えられた。人々は赤いランタンを掲げて、大火事になっている様子を装ったため、この災いから逃れることができ、その後、ランタンを掲げたり空に放つという習俗が生まれたといわれている。

この他、一家団らんを象徴する「元宵」を一杯食べるのも、台湾人にとって重要な習俗である。冬至に食べる、もち米に餡を包んでこねて作る「湯円」とは異なり、元宵は、小さな四角に切った餡を竹ざるの上に転がして、絶え間なく「揺らし続ける」ことで作られる。その口当たりはもっと柔らかく、湯円のようにもちもちとはしていない。一部の店では、自家製のキンモクセイシロップと合わせて、または溶き卵を入れて甘いスープを作っている。冬の夜に食べると身も心もすっかり温まり、祝祭日に食べるスイーツとして欠かせない。

元宵節を楽しみ尽くすには？

台湾ランタンフェスティバル

元宵節の期間に登場する「台湾ランタンフェスティバル」は、台湾の一般市民と観光客から広く受け入れられている大型イベントのひとつ。毎年のランタンフェスティバルでは、その年の干支がテーマとなる。様々な県や市が交代で開催し、主催者はその土地の特色とどのように融合させて、展示エリアのデザインや配置を行うかを決定していく。ランタンフェスティバルの展示エリアには各種の特色あるエリアがあり、国内外のアーティストを招いてランタンを共同創作する。これも、台湾ランタンフェスティバルの大きな見どころだ。

定番スイーツ

元宵





御品元冰火湯圓

台湾ミシュランガイドビブグルマンに掲載された元宵。2年間寝かせた古いもち米を浸水させた後に粉状にし、餡は、冷凍したラードをベースに作ったゴマとピーナッツの餡。匠たちが手作業でゆすって作った元宵は全てまん丸で、外皮は透き通るように輝き、口当たりは柔らかく、中の餡が口の中でとろりと溶けだし、満足感は十分。

台北市大安区通化街39巷50弄31号
月曜-金曜日 18:00-23:00；土日曜 17:30-24:00



基隆全家福元宵

玄人は、箱に描かれている2匹の異色のドナルドダックを見ると、美味しいものにありつけることを知っている。60年の歴史を持つ全家福元宵は、ラードを使用し、炒めたゴマと混ぜ合わせて餡を作る。豊かな香りの餡が甘みとともに口の中いっぱいに広がる。旅行で基隆を訪れるなら必食のおいしさ。

基隆市仁愛区愛四路50-1号
16:00-23:30 月曜休



text／何昱泓・photo／吳俊諺





観光に来たら、記念品を家に持ち帰りたいと思うものだが、ランタンフェスティバルの期間中には干支をモチーフにしたミニランタンが無料で配られる。これをコレクションに加えようと大勢の旅行客がよく行列を作っている。ランタンフェスティバルの現場の人混みがいやだという場合は、台湾各地の廟でも、自分で組み立てるタイプのランタンも用意しているところがある。組み立てて電池を入れると、台湾にいなくても、異国の地で元宵節を祝うことができる。

平溪天燈節

台北から車で約40分ほどの距離にある平溪は、365日ランタンを空に放つことができるため、多くの観光客がここを目当てに訪れてくる。ドラマ「ソロ活女子のススメ」でも、ロケのためこの場所に訪れて撮影をした。しかし、毎年元宵節にしか開催されない「平溪天燈節」では、旅行者がランタンに願い事や幸福祈願を書いて、点火後に何千というランタンが空に放たれ、壮観な光景が広がる。この光景となる、平溪のランタンフェスティバルは、2013年に世界「死ぬまでに行ってみたい場所」トップ14に選ばれた。

塩水蜂炮と炸寒単爺

極限まで挑戦して刺激を求める旅行客であれば、台南で世界三大民俗祭りのひとつである「塩水蜂炮」や台東の「炸寒単爺」祭りを訪れるのもいい。

清朝の台湾で始まった塩水蜂炮は、一説によると、地元住民が、関聖帝君が疫病を収束できるよう祈願するため、神輿の巡行が塩水の全域を回った際、同時に爆竹を鳴らしたことに由来するという。疫病が収束した後、今日見られるように、無数の爆竹を一斉に爆発させ、この小さな町全体をこうこうと明るく照らす爆竹イベントとなった。

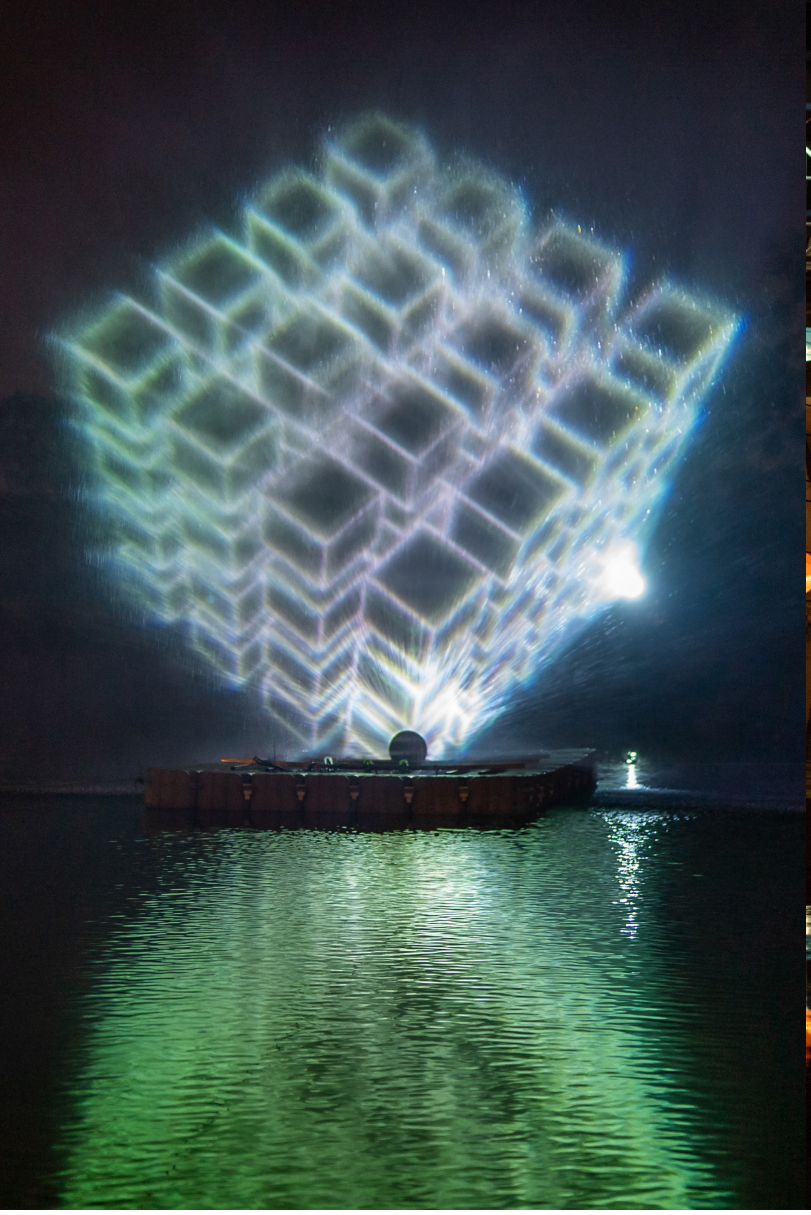
台東の炸寒単爺は、大量の爆竹を鳴らすとはいえ、信徒の一人が裸に赤い短パン一枚の格好で、頭巾を頭から被って寒単爺に扮した信徒に向けて爆竹を投げつけるものである。絶えず爆撃するのは、寒さを駆逐し、富を迎えることを象徴する宗教活動である。人々は、爆竹を鳴らすことで豊かになり、その年の金運も上がると信じている。イベントはインパクトに満ちたものだが、参加時には必ず主催者の指示に従って、防護措置を施さなければならない。

次回の旅行は元宵節の時期に！

元宵節、端午の節句、そして中秋節は台湾の三大伝統祝日として並び称されるが、その多様性や興味深さは、人に深い印象を残すものである。美と技の競演ともいえる台湾ランタンフェスティバルから、至る所で爆竹を鳴らす炸寒単爺や塩水蜂炮まで、元宵節は、旅行客にとって、台湾の文化や情熱を深く体験できる機会であろう。次回、台湾を訪れる際、ちょうど春節の時期に重なったら、ぜひ時間を取って、台湾式の元宵節を体験するのをお忘れなく。●



台東の炸寒単爺





COVER STORY

02

光のある場所に集まりあう

台湾3大元宵節祝賀行事
塩水蜂炮、月津港燈節、平溪天燈節

毎年、元宵節には、大規模な「台湾ランタンフェスティバル」の他にも、台湾各地でもあらゆる規模のランタンフェスティバルの祭典が開催される。その中で有名な3大ランタンフェスティバルイベントは、塩水蜂炮、月津港燈節、平溪天燈節である。これらは豊富な文化的意味合いとクリエイティブさを融合させたもので、国内外から無数の旅行客が訪れる。

台南月津港燈節

毎年、元宵節の期間に台南の塩水で開催される「月津港燈節」は、歴史と人文をテーマに、モダンアートと水辺の風景を融合させたイベントである。光と影を生み出すインスタレーション作品によって、塩水という小さな町が、夜間美術館のように輝く。

かつては塩業輸送における 重要な海の窓口

2010年、地方芸術団体が発起した月津港燈節は、光と影の芸術と水辺



EVENT 1 **月津港燈節**

2025/1/18——2/16　台南市塩水区康楽路（月津港親水公園、塩水巷弄街区、大衆廟）

の風景を融合させ、初めてウォーターフロントでのランタンフェスティバルを計画した。伝統的なランタンフェスティバルでよく見られる「十二支」のテーマではなく、アーティストの創作による斬新な表現が特徴だ。

光と影の芸術で、もう一度村に灯をともす

月津港燈節の最大の特色は、光と影の芸術を地元の水辺と見事に融合させ、独特な視覚の饗宴を創り出している点だ。月津港の水路が主な展示エリアとなり、作品は水面や港、狭い路地などに点在している。その深みのある芸術的雰囲気は、多くの人々を惹きつける。訪れた人々は徒歩で散策しながら楽しむだけでなく、ボートに乗って水上のインスタレーションを鑑賞することもでき、様々な角度から光と影の魅力を堪能できる。

毎年のランタンフェスティバルのテーマは異なるものの、地元の特色ある文化を取り入れようとしている。例えば、塩業の歴史と塩水蜂炮は、地方の色合いを色濃く残しており、国内外の有名アーティストを招いて、ストーリー性のあるインスタレーション作品を打ち出している。これらの作品は、音と光の技術、デジタルプロジェクションやインタラクティブデザインと融合して、未来感に満ちた雰囲気を醸し出し、まるで夢の世界にいるような感覚にさせる。

新北平溪天燈節

新北平溪天燈節は、台湾北部で最も代表的な元宵イベントのひとつで、台南の塩水蜂炮と並んで有名であり、「南の蜂炮、北の天燈」と呼ばれている。ランタンを空に放つのがイベントの中心となっている。毎年、数十万人の旅行客が来訪し、かつてはCNNの「世界中でやるべき52のこと」に選出され、その国際的な注目を集め、独自の魅力が世界に広がった。



EVENT 2

新北平溪天燈節

2025/2/8、2/12　　新北市平溪区静安路二段295号
（平溪国中、十分広場）

空に放たれるランタンは無事の知らせ

昔の平溪には山賊がはびこっていたため、村人はランタンを空に放つ儀式によって無事を互いに確認しあっていた。時代が進むにつれ、ランタンを空に放つ行為は、実用的な機能から幸福祈願の象徴へと姿を変え、人々が幸福や平安に対する願いを託すものとなった。

代表的な元宵節の祭典となる

1990年代に復活した「平溪天燈節」の主なみどころは、ランタンを空に放つところで、場所は十分、菁桐と平溪に囲まれたところにある。伝統的なランタンは竹ひごと紙で作られる。ランタンの表面には願い事や幸せを祈る言葉が書かれており、希望と祈願を天に届けることの象徴となっている。数百ものランタンが同時に空に放たれると、火の光が夜空に映えて、壮観でロマンチックな風景が広がる。おとぎ話の中の画面を彷彿とさせ、見る人にいっぱいの幸福と感動を与える。

ランタンを空に放つほか、ランタンフェスティバルは文化創意マーケットや、芸陣（伝統的なアクションパフォーマンス）やランタンショーなどとも融合して、豊富なイベント体験ができ、旅行客は思い出に沢山の写真を撮ることができる。

台南塩水蜂炮

2月に台湾旅行に訪れることを計画しているのであれば、台南塩水蜂炮は決して見逃せない一大文化行事である。この長い歴史を持つイベントには民間信仰が含まれ、壮観な花火ショーとにぎやかな街頭での祭典もこれに付随している。



EVENT 3

台南塩水蜂炮

2025/2/11——2/12

台南市塩水区三福路132号
（塩水国中運動場）

伝統的な民間信仰を源泉とする

塩水蜂炮は、古くは清朝の光緒年間（西暦１８８５年）に遡る。当時、塩水地区では疫病が蔓延しており、住民たちは「関聖帝君（かんせいていくん）」の加護を祈るため、旧暦正月15日の元宵節の夜、夜明けまで爆竹を鳴らし続けたと伝えられている。

夜空を切り裂く、百万発の爆竹

塩水蜂炮で最も印象的なのは、密集した花火と、ロケット花火が飛び交う壮観な光景だ。塩水の街全体が光に包まれ、整然と並べられた２００万本もの爆竹が一斉に点火され、地面から夜空へと光が舞い上がる様子は、無数の流星がきらめく光景を彷彿とさせる。これらの爆竹は、厄除けや平安祈願という願いを象徴しており、一般市民に視覚的なインパクトと心理的な安らぎをもたらす。

イベント期間中、塩水の街は、にぎやかで特別な祭典の場所に姿を変える。伝統的な龍舞や獅子舞のショー、各種の民俗的ゲーム、美味しい台湾のスナック屋台まで、旅行客は、地元文化の雰囲気を味わい尽くすことができる。●

楽しく蜂炮を楽しみましょう！



参加する前に、この写真のように準備してください！最も重要な原則は、体全体をしっかり覆い、できるだけ肌を露出しないようにすることだよ。

03

多彩な魅力を解き放つ：2025台湾ランタンフェスティバルは桃園で開催

編集部のおすすめスポット

2025年の台湾ランタンフェスティバルは桃園・青埔で開催される。盛大な元宵節の行事に参加し、見切れないほど多くのランタンを楽しむ他に、もし旅程にちょっと余裕があれば、ついでに有名な建築士が設計した大型美術館を訪れたり、そのそばにある中壢市街に足を延ばしたり、閩南、客家、外省人居住区、先住民族と新住民が作り出す特色あるグルメを楽しんだりと、多様な文化が織りなす桃園市の魅力を体感できる。





GOOGLE MAP







SPOT 1

青塘園

桃園高鉄駅に隣接する青塘園は、灌漑用のため池を改造して作られた。親水スロープや木材でできた桟道などの施設がある。日中は蓮の花と水生植物がその美しさを競い、夜は景観橋と「永遠の塔」のライティングがロマンチックな雰囲気を醸し出す。親子連れや写真愛好家がここを訪れ、生態と都市の美学が融合した絶好の旅行スポットである。

桃園市中壢区文徳路300号　無休

SPOT 2

桃園市児童美術館

台湾で最も美しい児童美術館と呼ばれるにふさわしい美術館である。日本人建築士の山本理顕が、「芸術山丘」のデザインコンセプトのもとに創り上げた建物。美術館の建築は 45 度の斜面と純白の Z 型の景観歩道がその特徴となっている。光と影の効果により、空間全体が明るく、絶好の撮影ポイントである。館内の展示は芸術と稚気が融合しており、インタラクティブな遊具や教育イベントが用意されており、親子連れで遊ぶのに最適である。

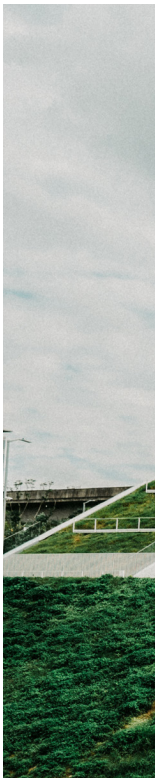
桃園市中壢区高鉄南路二段90号　09:30-17:00 火曜休　$ 入場料NTD100

SPOT 3

横山書法芸術館

台湾初の、書道をテーマとした美術館である。その造形は、硯と墨池にインスピレーションを受けたもので、建築士が打放しコンクリートと自然の景観を融合させて、書道芸術の優雅な雰囲気を表現している。館内は ABC の 3 棟に分かれ、多様な書道作品を展示している。伝統と現代のイメージを融合させ、さらにはインタラクティブエリアが設けられており、訪問者が書道創作を体験できるようになっている。

桃園市中壢区青埔里領航北路二段99号　09:00-17:00、月曜休　$ 入場料NTD100



SPOT 4

阿美米干 中壢店

米干は中国・雲南省が起源であり、戦争に伴う移民によって、異なる場所の食文化が桃園地方に伝わってきたものである。米干は、ライスミルクを手作業で蒸して作られるもので、豚骨を煮込んでできたカオタンスープに、豚レバー、赤身肉、卵、ネギ、酸菜（漬物）などのあらゆる付け合わせと一緒にいただく。素朴ながらも濃厚な味わいで、日常の三食をいたわるような味わい深い食べ物である。

桃園市中壢区中正路370号1階　10:00-22:00 無休



SPOT 5

張豊盛行

1911 年に創立。最初はピーナッツの搾油業として起業。その後、ピーナッツやゴマなどのナッツ類食品の生産に変更した。店内では、ピーナッツ飴やゴマペーストなど、多くの種類の製品を提供している。そのうち、店内で販売されているピーナッツとゴマ風味のできたてソフトクリームは、決して外せないほどの美味しさ。

桃園市中壢区中正路349号　09:00 – 17:30 無休



SPOT 6

牛肉伝奇

外省人居住区の文化的影響を色濃く受けた中壢地区において、台湾牛肉麺は決して外せないローカルグルメである。地元民に深く愛される牛肉伝奇は、醤油味と塩味の牛肉麺を提供していることで有名である。具材が豪快に使われており、牛スネと牛スジはどれも大ぶりで、とても得した気分になる。スープはしょっぱすぎることなく、ほのかな辛味があり、店で付いてくる酸菜とラー油（辛い！）と合わせると、スープの風味がぐっと増すのである。



桃園市中壢区民族路73号　11:00–14:30、16:30–21:00 月曜休

SPOT 7

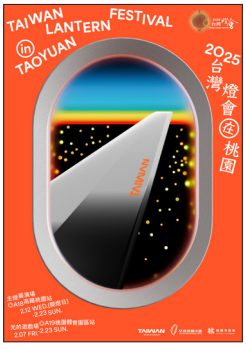
劉媽媽菜包

店内で販売される客家のグルメには紅粄（もち米でできた団子）、艾草粄（よもぎの草餅）、発糕（蒸しケーキ）などがあるが、その中で一番好まれているのは糍粑（客家版の大福）である。砂糖とピーナッツ粉をまぶしていただくと、もちもちとした食感で、噛みしめるたびに砂糖のカリッとした食感が味わえる。この他にも、店内のおすすめ料理も一食の価値がある。豚肉の餡に大根の千切りを混ぜて、さらに海老の殻と白ゴマを加えて味を調えたものである。外の生地は柔らかく、熱々で食べると、内側の餡から漂ってくる油の香りで、1 個食べるだけでは物足りない。



桃園市中壢区中正路268号　24時間営業　無休

2/12 — 2/23
2025
台湾ランタンフェスティバルは
桃園で開催



2025台湾ランタンフェスティバルは「光聚千塘串桃園」をテーマに、伝統的なランタンやアートデザイン、環境保護と省エネ、地元の特色、イノベーションやテクノロジーなどの要素を融合させ、五感を刺激する壮大な体験を提供する。期間は2月12日から2月23日まで。数々の美しいランタン芸術作品を、桃園空港MRT A18駅(高鉄桃園駅)駅前広場、及びA19駅(桃園体育園区駅)の周辺エリアで幅広く展示。2つの大きな展示エリアでは、合計でメインのランタン1台、サブのランタン2台及び11のテーマランタンエリアがあり、300点以上の作品を展示する。


張豐盛







町　さ　ん　ぽ—01

国民的女神に追随する歩みは、信仰の純粋な力を物語る



遶境は難しくない。行けばいいだけ

text、illustration／朱朱（黄朱平）、樺子　photo／吳俊諺



ある媽祖の物語には、このような言い伝えがある。「媽祖が海難事故から人を救うときには、多くの場合、豪華な鳳冠霞帔の正装ではなく、普段着姿で現れる。「女神」と呼ばれると、身支度を整えてから姿を現す…。」その親しみやすい姿は、台湾の住民と共に３００～４００年にわたって根付き、人々の心の中で「国民的天后」としての地位を築き上げている。

のべ１００万人が媽祖に随行する、地上最大の集団移動

媽祖進香活動の源流といえるものは、最初は移民と関係があるかもしれない。古代の人々は漁業を営み、商売をしていたが、もともと住んでいた場所の人口が飽和したため、その外部に生活圏を開拓した。台湾海峡を横断し、台湾に到着した後、媽祖を祀る場所は、もう一つの家であった船の上から家の中に移り、生活が安定するようになってから廟を建立して祀り、一定の期間ごとに故郷に戻って参拝する。

「湄洲参拝」、「泉郡（泉州）参拝」はその一例である。さらに、２つの土地の交流を通じて、期間を決めて外地に出てあらゆる神々を訪問し、客として交流し、大きな廟に行って講習を受け、霊力を高めることを「進香」（参拝）という。例えば、「白沙屯媽祖、山辺媽祖北港進香」では、２人の媽祖が同じ神輿に乗って朝天宮に訪問する。２０２４年には申込人数が18万人にのぼり、過去最高を記録した。

旧暦３月２３日の媽祖の誕生日の前後には、信仰する民衆が神像を自分の領域に迎えて管理区域を巡視する。これを「遶境」（巡行）という。例えば、台湾三大爆竹祭りに名を連ねる「北港迎媽祖」は毎年の旧暦３月19、20日に行われ、北港媽祖が年に１回境内を巡視し、銅鑼や太鼓の音が空に響き渡る中巡行隊列がやって来て、全ての家が媽祖の保護を得られるよう、領域内全ての平安を祈る。

この二つが融合したものが「大甲媽祖遶境進香」であり、大甲境内では「遶境」、新港に出ると「進香」となる。毎年、清明節の時期に前後して開催され、沿道で神輿を出迎える信徒はのべ１００万人にも上り、地上最大の集団移動のひとつともいわれている。

これらの有名な伝統的な民俗行事は、媽祖の足跡をたどるための入門編と言えるだろう。この小さな島、台湾では、各県や市の無形文化遺産として登録されているほか、徒歩を主体とした媽祖の巡礼活動を通じて、媽祖信仰の風習がますます勢いを増している。

信仰というこの道を歩む中で、年配者を支えたり幼子を連れて参拝する敬虔な姿を目にすることができるだろう。また、それをきっかけに地方の発展に関わる文化的背景や、地域産業の特色、人々の温かい心情に触れることができる。

一期一会の旅、この土地で最も心に響く想い

進香活動に参加するにあたっては、ちょうど初春の時期で、寒暖の差が激しく、準備万端な鞄を用意するのはひとつの課題である。出発前に大きなバックパックを整理する。２～３日分の衣服、生活必需品などを準備し、行列に参加できるようにする。重さに耐えられなければ、「必要なものだけ」残して「断捨離する」ことを、歩きつつ学習していく。まさに人生の縮図のようだ。

多くのベテランは自分で台車を用意する。大甲媽祖進香の８泊９日に付いていくため、この「戦車」を押して南下し、北上する。日中は炎天下となるため、大半の信徒は夜間に歩くことにしている。昼は身を潜め、夜に登場する灯火は、行列における美しいシーンのひとつとなっている。

手荷物を持っていく他に、道中では何を食べるのか？台湾ではほとんどの場合、数歩歩けばコンビニが見つかる。進んでいくルートでは、熱心な信徒たちが昼夜を問わずあつあつの食べ物を準備している（日本の四国のお遍路でのお接待」に似ている）。人々は皆こう言う。「媽祖様にご馳走さ

せて！」遠くから来る参加者を歓待し、家の中のトイレや部屋まで開放し、くつろげる休憩場所を参加者に提供する。

　足が不自由な信徒や休憩が必要な信徒を自転車やトラックで運ぶ。これらは全て、媽祖様の慈悲の力に感化されて自ら行っている、自発的な行動である。誰彼なしに互いに助け合うという、この土地でこの上なく美しい思いである。

　道を歩くと、しばらく世の中の喧騒や煩悩から離れることができる。ふと陶淵明の詩が思い出される。「廬を結びて人境に在り　而も車馬の喧しき無し」。この時に、しっかり歩いて、思いを巡らせる。自分と対話し、自分の「心」をケアする。旅の途中で出会った人や起きたことは、往々にして活動が終わった後に振り返って懐かしく思うものである。来年の一期一会の出会いをさらに期待している。

　進香活動にどうやって参加して、媽祖様の歩みをたどればいいかと問われたら？

　荷物をまとめて出発、ただそれだけ！●

準備と交通情報

白沙屯媽祖、山辺媽祖北港進香

白沙屯媽祖と山邊媽祖北港進香の日程は、毎年旧暦の12月15日（2025年は1月14日）で、大甲媽祖に筊を投げて決定される。短い場合は1週間以内、長い場合は10数日間にわたる。ルートは媽祖の神輿の霊の導きにより決まる。身体能力について言えば、不確定性の高いチャレンジとなるため、荷物は身軽にしておくのが最善だ。観光バスを予約して手荷物を置くこともでき、歩き疲れたときは乗車してしばし休憩することもできる。または、友人と約束して相乗りすることもできる。手荷物は、生活必需品だけを持ち歩こう。

白沙屯媽祖遶境に参加する際は、「白沙屯 GPS」アプリをダウンロードすれば、媽祖の正確な位置を追跡できる。



苗栗 通霄白沙屯拱天宮

START

往復 400km

END

雲林 北港朝天宮





台中 大甲鎮瀾宮

START

往復 330km

END

嘉義 新港奉天宮

大甲媽祖遶境進香

日程は、毎年の元宵節に、大甲媽祖に筊を投げて決定される。一般的には、清明節（太陽暦の4月4日から4月6日）前後に開催される。媽祖に8泊9日付き添って（約3〜4日の行程で、新港まで半分の区間を歩く信徒もいる）決まったルートを歩き、多くの信徒は、キャビネットで作った台車の中に日用品を入れて運んでいる。現在では、物流輸送やコインランドリーなどもあり、活動への参加が便利になっている。

遶境の際は、大甲鎮瀾宮が作成したGPSマップを使って、媽祖の正確な現在地を追跡できる。

体力づくり

媽祖に合わせて歩くためには、長距離を数日間歩く必要がある。多くの参拝者は事前に体力づくりをしている。「1日1万歩」を歩き、登山やハイキングをしたり、グラウンドを走るなど、肺活量や脚力のトレーニングを行うのも良い方法だ。

近い距離に間近に迫る！

遶境の途中で外せない体験

YOU CAN TRY 1

鑽轎脚
（神輿くぐり）



腹ばいで進み、媽祖の神輿から通り過ぎるという祝福祈願の儀式であり、「鑽轎脚（神輿くぐり）」と呼ばれている。媽祖の神輿が通るルートの途中で待機できる。人混みが激しいため、行列の前後にスペースを設ける必要があり（通常2人1列）、媽祖の神輿が接近する時に、もう一度身をかがめる。

YOU CAN TRY 2

神輿を担ぐ



神輿が郊外に入ると（またはそれほど人混みがないとき）、神輿の担ぎ手たちは、進香に随行する信徒たちにも神輿担ぎに加わってもらう。一般的に、平均的な身長の人が選ばれる（重量の分布にばらつきが出たり、神輿に高低差が出ないようにする）。何人かの友達と一緒に、媽祖様と同行する。一緒に媽祖様のために奉仕できないかと礼儀正しく尋ねると、神輿を担ぐ貴重な体験ができるかもしれない。

YOU CAN TRY 3

媽祖様をもてなす



媽祖進香の道中、熱心な信徒たちが各種飲料や熱々の食べ物を用意してくれる。媽祖に付いていき、媽祖を守る大規模な集団の労をねぎらうためである。必要なエネルギーを適時に補充し、必要なだけ頂き、「親切さを大切に受け取り」、無駄にすることなく、人々を困らせないようにする。敬虔な心が、媽祖進香に随行する主旨なのである。



Profile

朱朱

イラストレーターとして長年、民俗文化や人文風景に関心を寄せてきました。絵画と文章を組み合わせた表現を得意としている。著書に『媽祖と共に歩む』がある。



SPOT
1 北港老街（旧市街）

朝天宮の正門から伸びる中山路に沿って、雲林人にとって重要な生活の中心地が広がる。ここの建築物は主に２種類に分類され、１つは日常生活に関係のある店舗、例えば漢方薬局や診療所などで、もう１つは寺や廟の参拝に関わる建築物である。旧市街の建築物は赤レンガによるものが多く、かつ、中国で縁起がいいとされるトーテムがファサードに利用されており、中洋融合の手法により、より華麗で趣のあるものとなっている。

町さんぽ：雲林北港 —02

遶境のあとも魅力的な、神に守られる街

遶境祭典後も、多くの旅行客が媽祖を一目見ようと訪れる。旧市街では地元のB級グルメが楽しめるほか、北港特有のピーナッツの香りが漂い、この小さな町ならではの旅の魅力が感じられる。

text／編集部　photo／林睿洋

朝天宮から出発、旧市街を探訪する

SPOT
2 北港朝天宮

朝天宮は雲林県北港鎮に位置し、1694 年に建立される。台湾にある 300 の媽祖廟の総本山であり、天上聖母や観世音菩薩などの神々が祀られている。廟内の建物や彫刻は、いずれも匠の手によるものである。小さな窓飾りの人物の表情や動作の描写から、雄大で迫力のある龍柱に至るまで、その精巧で繊細な職人技は、一つ一つじっくりと味わう価値がある。

北港朝天宮では線香の火が年中絶えないものの。媽祖の誕生日の期間は、各地の信徒が北港に戻って進香（参拝）を行う。これはかなりの盛大な規模で行われ、銅鑼や太鼓の音が鳴り響き、街中が人であふれ、媽祖の進香期間の最高潮を迎える。北港鎮全体が濃厚な宗教的雰囲気に包まれる。





GOOGLE MAP



SPOT 3

傳發之家

四代受け継がれる伝統のの製法で作られた麦芽糖に、香ばしいピーナッツを組み合わせている。この糖は上品な甘さで、全くしつこさを感じさせない。一口ごとに、糖とピーナッツの豊かな風味が口の中でじんわりと広がり、繊細で贅沢な味わいを堪能できる。

雲林県北港鎮公民路12号　9:00-21:00 無休

SPOT 4

北港祥記花生酥

100 年以上の歴史を持つ祥記花生酥（シャンクィーピーナッツケーキ）。このお店は朝天宮のロータリーそばにあり、今でもピーナッツ飴一種類だけを販売している。原材料はピーナッツと麦芽糖という非常にシンプルなものだ。店主がナイフでピーナッツ飴をひとつひとつ均等に切り分ける様子は、見ているだけで癒される光景だ。

雲林県北港鎮中山路157号　11:00-18:00 無休







SPOT 5

億昌油廠

1966 年に創立。億昌油廠は高品質のピーナッツオイルとゴマ油の生産で有名である。ピーナッツオイルは、北港で採れたピーナッツを厳選し、100% の純ピーナッツをコールドプレスで抽出。香りが濃厚で口当たりが滑らか。和え物料理にナッツの香りをつけるのに最適。

雲林県北港鎮民生路66号　8:00-22:00 無休



SPOT 6

日興堂喜餅

旧市街に位置する日興堂は地元の老舗菓子店で、祝祭日用の餅やケーキ、肉餡の入った喜餅や出来立てのマーラオを販売している。店の傍では、ベテランの師匠ができたてのマーラオに手早く麦芽糖をかけて、さらにいっぱいの白ゴマを付けている。噛み締めるともちもちとした歯ごたえがあり、口の中がゴマの香りで満たされる（食べる時に注意しないと、床中がゴマだらけになってしまう）。

雲林県北港鎮中山路3号　8:00-22:00 無休

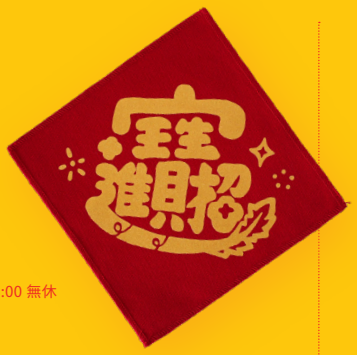
台湾人と一緒に、大稲埕で旧正月用品を揃えよう！

おすすめ10選

SP

大稲埕は、台北人が旧正月用品を揃えるのに、最適な場所のひとつである。特に、旧正月が近づくと、街角には質の高い商品が次々と店頭に並び、活気あふれる掛け声が飛び交って、多くの旅行客や地元民がここに買い物に訪れてくる。お土産おすすめ10選は以下の通り。台湾の正月の雰囲気を味わえるだけでなく、ギフトにも自宅用にも最適。

❶布の春聯



春聯をかけるのは、旧正月の期間中、台湾の家で行う小さな儀式となっている。通常、赤い布を下地にして、金色や黒で、「福」、「春」、「財」などのめでたい言葉を印字する。伝統的な紙の春聯と比較して、布の春聯は長持ちし、繰り返して使用でき、かつ独特な質感と立体感がある。玄関の装飾や壁飾りに、さらにはプレゼント等のあらゆる用途に利用可能。

印花作夥 inBlooom Together｜台北市大同区迪化街一段248号｜10:00-18:00 無休

❷漢方茶



伝統的な漢方理論と現代のお茶の習慣を融合させた健康飲料。草本植物、花卉、果実等の天然材料を配合している。よくある処方には、菊の花、決明子、ナツメ、クコの実、陳皮などがあり、それぞれの材料に独特の効果がある。例えば、熱を下げる、解毒、精力増進、血を増やす、リラックス効果など、四季折々の身体のケアをカバーしてくれる。現代女性から好まれている草本飲料。

黄長生薬行｜台北市大同区迪化街一段134号｜09:00-17:00 無休

❸澎湖ピーナッツバタークッキー





澎湖土産の定番アイテム。地元でたくさんとれる良質なピーナッツで作られ、生産過程では香ばしいバターが加わり、魅惑的な香りを放っている。サクサクとした歯ごたえで、歯にくっつくこともなく、口の中ですぐに溶ける。ちょうどいい甘さで、ピーナッツの自然の風味と濃厚な香りが表現されている。台湾の地元の風土を味わうには最適の一品。

澎玉191｜台北市大同区迪化街一段191号｜09:00-18:30 無休



❹ラー油



上等の唐辛子、花椒と白ゴマを選び、その香りを油の中に封じ込める。木とレモンのようなスパイシーかつ優しい香りで、口にすると舌がしびれる感覚はありつつも辛くはない。鮮やかな赤い色が冬の食欲を刺激し、中華料理の定番・麻婆豆腐を作るのにもぴったり。自宅用にも、贈答品としても最適の調味料。

杜甲 A-Ma 台北迪化店｜台北市大同区迪化街一段159号｜10:30-18:30 無休

貨



❺小茄芷袋

台南に起源があり、最初はイグサを手作業で編んだのが始まりだといわれている。その後、ナイロンの布を使用して作った半透明の手提げ袋となり、現在では姿をがらりと変えて、観光客が台湾で競って買い求めるお土産となった。デザインも豊富で、バッグや買い物袋としても使える。

高建桶店｜台北市大同区迪化街一段204号｜09:00-19:00



❻薬膳食材セット

漢方の「食補（栄養補給）」という考え方を取り入れ、オウギ、当帰、クコの実などの漢方薬材を組み合わせ、心身をしっかりと補う。鶏肉や鴨肉、または豚のスペアリブと一緒に煮込むと、風味豊かで香り高く、栄養価の高いスープが出来上がる。また、このセットは真空パック仕様になっており、取り扱いや保存が簡単だ。寒い冬の夜には、家で手軽に心も体も温まる中華スープを楽しむことができる。

黃裕生藥行｜台北市大同区迪化街一段93号｜09:00-17:00 無休



❼寿桃、❽福気亀

亀は伝統文化の中で富と長寿の象徴とされており、縁起物としての意味合いがある。また、確固として揺るがないイメージも与える。麦芽糖にピーナッツパウダーを加えて作った餡を、亀の型にはめて作り生地に包んだ、小さくてかわいいお菓子。寿桃は桃の形をしており、亀と同様に長寿と幸福のシンボルとなっている。誕生日のお祝いや正月でよく見かける。内側の餡は主にあずきや蓮の実でできており、食べる前に蒸し直すのがおすすめ。外側の皮が柔らかくておいしい状態に戻る。

❾蘇糍（マーラオ）

もち米、麦芽糖と胡麻で作られた台湾の伝統的なお菓子。外側には胡麻がびっしりと付いており、油の香ばしい濃厚な香りを放っている。中身は柔らかくもちもちとしており、麦芽糖の優しい甘さを楽しめる。マーラオは縁起物であるだけでなく、年配者と子どものお気に入りである。丸っこくて短い形は日本の秋田名産のきりたんぽにそっくり。正月にお客さんをもてなす時に、テーブルに並べるお菓子にぴったり。

十字軒糕餅舖｜台北市大同区延平北路二段68号｜08:00-21:00 無休

❿ひとくちサイズカラスミ

カラスミは、台湾の旧正月で縁起物でもある高級食材だ。塩漬けして天日干しにしたカラスミは深い琥珀色を呈し、濃い旨味と海の塩味が口に広がる。カラスミの中心の柔らかい部分を食べるとうっすらと歯にくっつき、これが高級品の証。リンゴや大根、梨と一緒に食べるのがおすすめ。最近では一口で食べられるミニサイズが発売され、食べやすいだけでなく、会食時にシェアするのにも最適。

李日勝｜台北市大同区迪化街一段203号｜09:00-18:00 無休



街

text／編輯部　photo／張紀詮

100年前の鉄道風景を感じる！

高雄・哈瑪星（ハマセン）鉄道文化園区









高雄軽軌C14「哈瑪星站」（哈瑪星駅）、からすぐの「哈瑪星鉄道文化園区」は、広々とした芝生が広がり、周辺には「駁二芸術特区」もあり、休日には多くの人々で賑わう人気スポット。この園区では、高雄市の設市100周年を記念して、昨年から鉄道運転復活プロジェクトが開始。復活した鉄道に実際に乗ることで、百年前の高雄の駅舎の雰囲気を楽しむことができる。

「哈瑪星鉄道文化園区」は、高雄で最も古い駅「打狗驛」があった場所に位置している。この駅は20世紀初頭に建設され、開業以来台湾内の物資輸送や国際貿易の重要な拠点として機能してきた。さらに、台湾南部鉄道の発祥地としても知られている。駅が港に近いため、輸出入のニーズに応じて周辺には多くの貿易商社や船舶会社が集まり、高雄で最初の都市計画が行われた中心エリアの一つでもある。この地域は、港を結ぶ沿海鉄道「濱線（はません、日本語の発音をもとに『哈瑪星』という当て字が使われている）」が通っていたことから、地元の人々によって「哈瑪星」と呼ばれるようになり、それが現在の園区名の由来となっている。

「哈瑪星鉄道文化園区」は、12個のサッカー場に相当する広大な敷地を誇り、その最大の特徴は、昔ながらの駅舎やホーム、鉄道の線路がそのまま保存されていること。特に注目すべきは、列車の運行を管理し、信号を切り替える役割を担っていた「北号誌楼」という建物で、これは台湾に現存する唯一の機械式信号塔。また、駅舎を改装した「旧打狗駅故事館」では、貴重な文物を数多く収蔵しているだけでなく、鉄道資料室も併設されている。館内の空間は当時のままに保存されており、訪れる人々はその時代の作業現場を体感できる。鉄道愛好者や、高雄の歴史を学びたい方にとって、ここは見逃せないスポット。

2024年に高雄市が設立100周年を迎えるにあたり、「哈瑪星鉄道文化園区」では昨年から新たなプロジェクト「濱線啟程」を始動。このプロジェクトでは、園区の歴史に関連する退役した乗客用および作業用の列車を全国各地から集め、展示することになっている。展示予定の31両のうち、6両は百年以上の歴史を誇り、かつて高雄の人々に親しまれた観光列車「嘟嘟火車（ドゥドゥ列車）」も園区に再登場し、今度は特別な商業施設の拠点として新たな役割を担う。

中でも最も注目されているのは、2024年11月末に正式に運行を開始する観光列車「哈瑪星号」。5両の貨物列車が改造され、1日14便、百年前の「濱線」に沿って、旧打狗駅故事館から五福四路の検修車棚へとゆっくりと走る。全長504メートルの鉄道沿いでは、北号誌楼や公園路橋などの歴史的なスポットを楽しめ、下車後はレトロな雰囲気が漂う塩埕区へ。ここでは懐かしい街並みと共に、種類豊富なB級グルメを満喫する。その後は再び園区に戻って貴重な列車を見学し、台湾ならではの鉄道の歴史を学ぼう。



SPOT

哈瑪星鉄道文化園区



高雄市鼓山区鼓山一路32号
高雄ライトレール
C14「哈瑪星駅」で下車後、すぐ到着します。

公式サイト

哈瑪星号（予約制）

text／羅健宏　photo／PJ Wang・高雄市政府文化局・永心浮島・永添藝術

哈瑪星鉄道文化園区





GOOGLE MAP

SPOT

寿山の情人見晴らし台

寿山忠烈祠のそばにある「寿山の情人見晴らし台」は、地元でも人気のフォトスポットだ。高台に位置するため、昼間は哈瑪星鉄道文化園区を一望でき、夕方にはロマンチックな夜景が楽しめます。写真撮影や心をリフレッシュするのにぴったりの場所だ！

高雄市鼓山区忠義路30号（忠烈祠の隣）
無休

SPOT

永心浮島

高雄の人気台湾料理ブランド「永心奉茶」が手がける系列店「永心浮島 YONSHIN FUDOPIA」は、昨年オープン以来、多くの注目を集めています。新鮮な海鮮を厳選し、現代的で洗練された調理技法を活かした一皿一皿は、台湾伝統の海鮮料理に新たな風を吹き込んでいる。

高雄市鼓山区蓬萊路大港倉七庫６之６号
12:00-24:00 水曜日は22:00まで営業

SPOT

永添藝術 金馬賓館當代美術館

かつては金門に派遣される軍人の報到所だった「金馬賓館」が、2016年に現代アートギャラリー「永添藝術」に生まれ変わりました。現在、台湾初となる森田恭通さんの作品が展示されており、台日友好を記念して、在台日本人は2025年２月までパスポートを提示すれば無料で入館できる。

高雄市鼓山区鼓山一路111号
10:00-18:00 月曜日休

周辺のおすすめ観光スポット！









SPOT

丹丹漢堡
（西子湾店）

ファストフード店として知られる「丹丹漢堡」（ダンダンバーガー）は、高雄を訪れる観光客にとって外せないグルメスポット。台湾料理と西洋料理を融合させたメニューと手ごろな価格で、地元の人々にも大人気！特におすすめなのは、メニュー９番の赤肉麺とクリスピーフライドチキンバーガーで、ボリューム満点だ！

高雄市鼓山区臨海二路24号
07:00-21:00 木曜日休

SPOT

KOOU COFFEE

古民家の２階に隠れた「KOOU COFFEE」は、地元でも珍しい深夜まで営業しているカフェ。バリスタが淹れるハンドドリップコーヒーやエスプレッソを堪能できるだけでなく、週末にはDJを招いて音楽イベントを定期的に開催。魅力的な音楽体験を楽しみながら、特別な夜を過ごせる。

高雄市塩埕区新楽街117号2階
13:00-22:30 月-水曜日は19:00まで営業

SPOT

鹽埕吳家金桔豆花

屋台からスタートし、現在は３代目が受け継ぐ「鹽埕吳家金桔豆花」（鹽埕吳家金柑豆花）は、薪で炊いた懐かしい香り漂う豆花の専門店。自家製の金柑シロップと合わせた素朴で優しい味わいが地元の人々に愛され、冬季限定の温かい豆花は心まで温めてくれる。

高雄市塩埕区富野路70号
11:00-18:00 月曜日休

あつあつの発酵鍋を味わおう

冬の定番・酸白菜鍋

text／毛奇　photo／邵耀緯



冬になると、あつあつの鍋を食べたくなるもの。数多くある鍋のうち、酸白菜鍋は、近頃最も流行したキーワードである「発酵食品」であり、台湾の冬のグルメとして欠かせない。

寒い気候の中でまるまると大きく育った白菜を、薄い塩水に漬け、見えない微生物が頑張って仕事をした結果、シャキシャキとした野菜から、酸っぱくて柔らかく、ほのかに甘い後味が生み出される。天然の乳酸菌の魔法により、野菜にビタミンCが保たれ、さらにビタミンBが追加されて、栄養上、大変身体に良いものになる。



酸白菜は中国東北部の食べ物で、寒い冬の時期に食べ物を保存するための人々の伝統的な知恵によるものである。韓国の白菜キムチの場合は粉唐辛子とナンプラーなどの魚介成分を入れるが、中華風酸白菜は完全なベジタリアンフード。出来上がった酸白菜は、刻んでその他の食材と和えて炒めることもできる。だが一番好まれる食べ方はやはり、酸白菜火鍋のスープにすることだ。

火鍋のおいしいメンバー：豚バラ肉、鍋のもと、つけだれ

酸味をスープにするというのは、初めて耳にするとあまり見当がつかないかもしれないが、天然のやさしい酸味のあるスープを、うまみのあるカオタンスープと合わせると、よだれの出るほど美味しい、食欲をそそる味になるのだ。酸白菜の最も良く知られた組み合わせは「酸菜白肉鍋」。豚バラ肉を加圧成型してから薄切りにする。酸味が豚肉の油のしつこさを分解するので、知らないうちにたくさんの肉を食べられてしまう。溶けた豚肉の油と肉汁が、鍋の中の酸白菜と混ざりあって濃厚な味を生み出す。まさに鍋を食べ、スープを飲んで味わえる冬の人気の一品。

中華料理の中でも「酸っぱいスープ」の種類はあまり多くないが、グルメな人々はそれを想像するだけでよだれが出てしまうほど。赤くて酸っぱいスープの代表例は、中国南西部の貴州のもち米とトマトを発酵させた酸湯で、白くて酸っぱいスープの代表例は、酸白菜のスープをおいて他にない。酸白菜の具には、前述した豚バラ肉の他にも、手作り卵餃子、凍り豆腐、揚げ肉団子、そして春雨を入れることもある。美味しいだけでなくお腹いっぱいになる。

私は個人的に、酸白菜火鍋にはハマグリを入れるのが好きで、スープにうまみと甘味が加わるからである。酸白菜火鍋を味わうのにもう一つ大事なのは「つけだれ」。薄茶色の濃厚な腐乳醤と、緑色で香り高いニラ花ペーストは、酸白菜鍋ご指名のベストパートナーだ。食材を鍋から出した後の味付けで、さらに奥深い味わいが醸し出される。

老舗の煙窓火鍋で酸菜白肉鍋を味わう。せわしいけれど楽しさも倍増

台湾人は鍋が大好きだ。その理由は、豊富な具材、美味しいスープ、そして友達と食卓を囲んで一緒に食事できることにある。食べたい食材を思い思いに入れていき、具材がちょうどいい煮え具合になるのを食卓から眺めつつ、人と人が自由に交流する様子は、まるで湯気を上げてぐつぐつと沸騰している鍋の蒸気のように活気がある。

私は「煙突」のある特製鍋を使用した、老舗の酸白菜火鍋が好きだ。人々は鍋の「煙突」の開口部から真っ赤な炭火を投入して、鍋を煮えたぎらせる。そのため、食材を投入できる範囲は、浮き輪のような形をした鍋の外周部分に限られる。しかし、肉をスープにくぐらせて具材を入れつつ、真っ赤に燃える炭火のにおいと熱を感じ、時々煙突の蓋を開けて火力を調整するとき、食卓で食事をするのにこんなにせわしく楽しいというのは、台湾の風情がある。●



Profile

毛奇

台湾の飲食作家、「深夜女子アパートの料理練習」というコミュニティを運営しており、同名の書籍を出版した。料理と文字で人の心を動かし、作品には大手グルメメディアに発表されている。

囲炉裏を囲んで、鍋を食べ、人情味を体感する

台北酸菜白肉鍋のおすすめ





長白小館

台北市大安区光復南路240巷53号　11:30-14:00；17:00-21:00、月曜日定休

台北の繁華街である東区の路地にひっそりとたたずむ、開業から40年余りの「長白小館」。毎年冬になると、中国・黒竜江出身の宋オーナーの作る東北酸菜白肉鍋と、熱々のできたてニラ焼き餃子と蒸し餃子を求めて、いつもお客さんが絶えない状態になる。

スープには伝統的な手法で発酵させた酸白菜と、鶏のカオタンスープを使用。さらに、この店独自のレシピとして、小さな蟹と干し椎茸などのうまみ食材を一緒に煮詰めて、豚バラ肉の油と酸菜を鍋の中で一緒に乳化させていく。乳白色のスープは、まろやかかつ滑らかで、口に入れるとはっきりとした酸味が味わえ、その後に濃厚なうまみが口の中に広がり、大変食欲がそそられる。スープの酸味が足りないと感じたら、追加で酸白菜を注文して鍋に入れて煮込むのがおすすめ。そして、春雨を入れるのをお忘れなく。スープのうまみをたっぷりと吸い込んだ春雨のもちもちとした味わいは、一度食べるとやみつきに。●



黄金比のつけだれを作ろう！

ごまだれと豆腐乳（発酵豆腐。濃厚な味わいで、種類によっては紅麹を入れて鮮やかな色になっているものもある。）これは酸菜白肉鍋の標準的なたれで、酸っぱい香り漂うジューシーなお肉に新鮮で塩味の効いた麻醤をつけると、香り高く、脂っこさも解消されるので、お試しあれ！

- **胡麻ペースト**——スプーン2杯
- **豆腐乳**——スプーン½杯
- **おろしニンニク、ネギ、パクチー**——お好みで追加

絶妙のコンビ！酸菜白肉鍋で注文必須の具材



春雨
鍋の最後は炭水化物の〆。スープのエッセンスをたっぷりと吸った、輝いて透き通る春雨を食べてお腹いっぱいに。やみつきになる最高の美味。



肉団子
温体豚肉（一度も冷蔵されていない肉）で作られた揚げ肉団子は、外はカリカリ、中は柔らかく肉のうまみを十分に味わえる。そのまま食べても、スープに浸して食べてもOK。



できたての中華焼餅
中国東北地方の料理を提供するレストランでは、一般的にできたての中華焼餅が販売されている。酸白菜スープは酸味が強く、空腹のままだと刺激が強すぎるため、いくつか食べてお腹を満たしておくとよいだろう。

都一処

台北市信義区仁愛路四段506号　11:00-14:00；17:00-21:00、無休

1949年開店の本格的北京料理レストラン「都一処」は、台湾の酸菜白肉鍋の老舗。徐オーナーが宮廷の厨房から受け継いだ技術は広く知れ渡っており、毎年「台湾ミシュランビブグルマン」に選出されている。

伝統的な炭焼銅鍋のスタイルで登場し、テーブルには炭火の香りが漂う。さらに、炭火の温度上昇は緩やかであり、保温効果が高いため、酸白菜の酸味の味わいがゆっくりとスープに浸透し、味がさらによく染み込んでいく。都一処の豚バラ肉には厚みがあり、油と赤身の割合がちょうどよく、食べ応えがある。友人グループ、親や祖父母や家族と一緒に食卓とコンロを囲み、熱々の鍋を食べて、台湾の冬の人情味溢れる雰囲気を体感できる。●



text／編集部　photo／邵耀緯

SPORTY TAIWAN

ランニングで感じる台湾の土地そしてユニークな人情

台湾マラソン競技のすすめ

ある場所について知るにはいろんな方法がある。多くの人は、食を通じて、その場所の雰囲気や味を直接味わうことを好む。他にも、音楽を聞いたり、熱心に参拝したりして、信仰や神との対話を体験する人たちもいる。しかし、ある場所について、道路の起伏から、土地の質そして周辺の空気の微妙な変化に至るまで、一番よく実感できる方法は何かというと、それは間違いなくランニングである。

自分で走ったことのあるすべての道について、その過程において、身体で実際にそこに行ってその中の全てを受け入れ、それを吸収し、それに浸ることで、それは最終的に身体の中に深く刻まれた旅行の記憶となるのである。

3月

新北市萬金石マラソン

心臓の拍動と潮騒が一緒に前進する

台湾の海の景観は独特で、雄大さと優美さの完全な融合ともいえる。そして、北海岸はその開かれた海の景色と険しく壮麗な岸壁で知られている。そのため、北海岸浜公路に沿って開催される「萬金石マラソン」は、台湾で最も美しい海岸マラソンと呼ばれている。萬里から金山を経て石門に至るコースは、台二線に沿っており、その途中には起伏が極めて激しいエリアもあるため、フルマラソンへの挑戦には十分な体力とトレーニングが必要である。毎年春に、ランナーは波の打ち付ける海岸で、潮風を吸い込みながら、台湾のマラソンでもトップクラスの美しい景観を楽しむことができる。2022年、ワールドアスレティックス（World Athletics）は、萬金石マラソンを台湾初の「ゴールドラベル」として正式に認可し、数多くの国際的ランナーが挑戦している。参加者はここで、台湾独特の山と海の景色を同時に体感しつつ、大自然の力強さと美しさを実感できる。



3月 台南古都国際ハーフマラソン

走りつつ、歴史の風情を一望に

その他のマラソンとは異なり、古都マラソンでは21.0975キロの「ハーフマラソン」であることが強調される。台南は、外国からの観光客に好まれる古都であり、このハーフマラソンの距離の間には最も密集した古跡があり、また台湾の歴史の展開を物語るルートとなっている。同時に、市の西部の港を回って、魅力的な海岸の様子を一目で見渡すことができる。

田中マラソンの熱い人情に負けず劣らず、古都マラソンも伝統的な軽食を補給食としているのが特色である。沿道では蜂蜜醤油煮込みやアイスキャンディーが味わえ、またこれらとセットでランナーに多くの古跡の周遊、軽食やお土産の割引特典などを提供しており、ランナーがマラソン後に台南の旅を十分に楽しめるようにしている。

11月 台湾米倉田中マラソン

人情味溢れるマラソン！焼豚やステーキも補給食に





「グルメマラソン」の別名を持つ田中マラソン。毎年沿道でランナーに提供される補給食には、焼き物、揚げ物から果物まで何でもあり。過去には、豚の丸焼きや、大判のビーフステーキなど非常に豊富なグルメが用意され、「最も人情味溢れるマラソン」という評判である。イベントは全体として、その他のマラソンのような、自分に集中し、絶えず自分を前進させるといった孤立した雰囲気ではなく、盛大なお祭り騒ぎといった雰囲気である。言葉が通じなくても、全ての場所を通過するたびに、台湾人の生まれ持った情熱と寛大さを強烈に感じられることだろう。

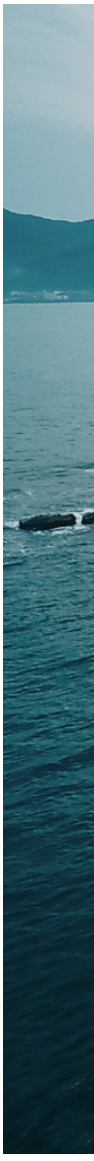
12月 台北マラソン

見たことのない都市の風景へと走り進む

台北は、台湾全土の中で最も生活リズムが速く、休むことのない、刻々と変化を遂げていく大都市である。この都市とゆっくり向き合うチャンスなどほとんどない。しかし、「台北マラソン」というこの時間に、いつもは交通量の多い高架道路に足を踏み入れ、台湾の冬独特の湿った冷たい空気を吸い込む。疲れはするものの、あらゆる瞬間に、この都市が普段見せない表情を見て驚きを感じることだろう。観光客であれば、これまでに見たことのない台北を見るだろう。

台北マラソンは1986年に始まり、毎年12月の3週目の週末に開催される。台北特有の湿度が高くて寒い天気になると、雨の中でのスタートとなる。しかし、逆にこれこそ台北マラソンのユニークなところである。沿道は台北の大都市、そして新旧融合の様相を呈しており、加えて時折冷たく湿った空気もやってくる。すぐそばには一緒に奮闘しながら前に進むランナーがいる。せわしない都市の時がしばし止まった様子が見られるのはめったにない機会だが、それはランナー一人一人の気迫と忍耐を証明するものでもある。●





text／Peas Lin　photo／台湾米倉田中馬拉松、新北市萬金石馬拉松、台南古都國際半程馬拉松、台北馬拉松

果物屋

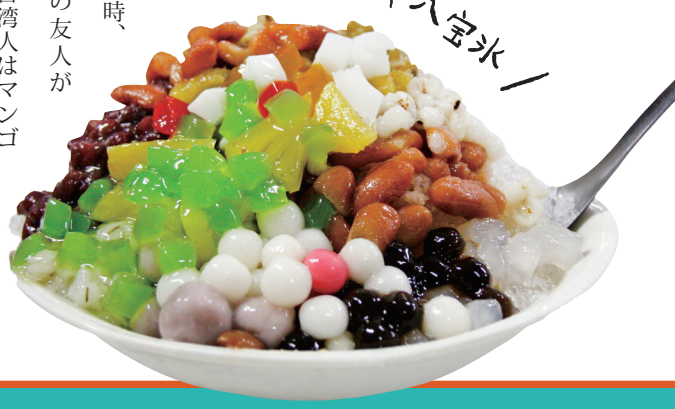
懐かしさいっぱいの台南老舗かき氷屋



文／謝金魚

ある時、日本人の友人が私に「台湾人はマンゴーかき氷が好きか？」と尋ねてきた。ワクワクしながら眼を輝かせている彼女を見て、私はとても答えづらかったのだが、実は私はマンゴーアレルギーだ。だから私は人生の中で、まだ一度もマンゴーかき氷を食べたことがない。

皆さんもご存じの、オレンジ色の果実を小さな山のように積み重ねて上から練乳をかけたあのマンゴーかき氷は、マンゴーの産地ではない台北市で生まれた。中学生ぐらいの時に台北のマンゴーかき氷の値段を聞いて、中南部の友人たちと一緒に「その値段ならこっちでは山のように買える」と笑





トマトスライス

っていたのを覚えている。いつの頃からか、中南部でもマンゴーかき氷が売られるようになり、マンゴーの里と呼ばれる台南玉井には「マンゴーかき氷一条街」という通りもできた。流行が食文化に与える影響はすごいものだ。

台南の昔ながらのかき氷屋は、ほとんどが「水果店（果物屋）」という看板を掲げており、店の前には黄金色に輝くバナナや青々とした艶やかなアボカド、明るい黄色の大きなマンゴー、滑らかな淡い緑のメロン、丸々とした粒がぎっしり詰まったブドウや、悪魔の果実のような姿をした巨大なドラゴンフルーツなど、ため息が出るほど立派な果物がずらりと並んでいる。

ほとんどできの悪い果物しか取れなくなってしまう台風シーズンや梅雨でさえ、かき氷屋の前に並ぶフルーツ軍団はいつもと何一つ変わらない新鮮さと輝きを放っているのだ。

しかもこれらの果物はただ見た目が美しいばかりではない。その品質の良さはオーナーの果物を見る目の鋭さと、仕入れ先との付き合いの深さに掛かっており、お互いが納得して初めて最高の品を仕入れることができる。

だから、初めて訪れる客の多くは、その店の腕前をチェックするために、まずカットフルーツの盛り合わせを注文する。自分の好きな果物をプラスしてくれるよう頼んでもいい。台湾の果物は糖度が非常に高く、一皿食べていると口の中が甘くなりすぎてしまうため、かき氷屋では通常、甘草と砂糖と塩を混ぜた「甘草糖」という粉末も一緒に提供される。その優しい塩加減が、甘さで麻痺した味覚を中和してくれるのだ。

漢方薬の中で「調和」の性質を持つと言われている甘草は果物によってたまった熱や冷えを相殺してくれるので、これはとても体に良い食べ合わせとも言える。その他にカットトマトを注文する人もいる。昔ながらの食べ方は、緑がかった「黒柿トマト」に黒砂糖と生姜と醤油



マンゴーカキ氷

謝金魚

歴史作家・歴史普及に尽力するタイムトラベラーであり、自らを一流のツッコミ家、二流の美食家、三流の小説家、そして場外の歴史学者と称している。



を混ぜたタレをつけて食べるというもの。甘じょっぱくてちょっぴりスパイシーな味になる。生姜と黒砂糖は昔から身体を温める食材と考えられており、フルーツの冷やす性質を中和することができる。

かき氷屋に来る客は家族連ればかりでなく、学生やカップルも多い。彼らは通常暑さ真っ盛りの昼過ぎに出没し、やや高価なカットフルーツの盛り合わせよりも、財布に優しいかき氷を好んで注文する傾向がある。あずきかき氷や愛玉かき氷は人気の定番メニュー。ちょっと洋風なチョコレートミルクかき氷も人気だ。

でも初めて台南に来た方にはぜひ「四果かき氷」を試してみることをお勧めする。「四果」は「果物の砂糖漬け4種類」という意味だが、必ずしも4種類とは限らない。通が好む組み合わせは、細切りパイヤ（木瓜籤）・ドライスターフルーツ（楊桃乾）・すももの塩砂糖漬け（李仔鹹）・土マンゴーの砂糖漬け（芒果青）など。さらにパイナップルのシロップ煮を加える人もいる。それらを真っ白いふわふわの氷の上に幾層にも重ね、最後にシロップをかけていただく。甘じょっぱくて微かに酸っぱい、さっぱりとした美味しさで、唾液の分泌を促しのどを潤す効果もある。

かき氷屋はその小さな店の中で実に様々な商品を販売している。もともと取り扱っていた果物に加え、冷たい飲み物やかき氷も扱うようになり、現代的なマンゴーかき氷やイチゴかき氷など、ほぼ何でも揃っているのだ。経営学的側面から見ればあまり合理的とは言えないかもしれないが、時代の流れに従い徐々に付け加えらえて行ったメニューには、店の柔軟性と多様性が表れており、幼い頃から大人になるまでずっとここで過ごしてきた楽しい思い出のひと時が記されている。ぜひ皆さんもここへ来て、その味と懐かしさを味わってみてほしい。●



金魚のお勧めリスト

GOOGLE MAP

- 莉莉水果店
- 清吉水果店
- 栄興水果店
- 氷郷
- 檨仔林氷店
- 泰成水果店
- 迦南水果店

台湾風景詩

火焔木のある山野の風景

李敏勇



東山175珈琲道路　写真／台南市政府

東山カフェ通りという名の道に
広がる緑の風景の中で火焔木が情熱のシグナルを綴っている
青空の下　その赤い輝きを眺めていると
この花がラテンアメリカで革命の花と見なされるのかを
ようやく理解することができた

ある年、ニカラグアの
首都マナグアからグラナダへと向かう道すがら
火焔木は山野を横切り
サンディニスタ革命の三十周年を祝うかのように
彼らの詩と歌が赤い花を咲かせていた

詩人の国ニカラグア
山々を覆うコーヒー農園
革命の隊列が火焔木の下のコーヒー農園の中に
戦いの足跡を残しながら、首都に向かって歩みだした

独裁者ソモサが倒れたその日
革命の花は青空の下で燦然と輝く
コーヒーの香りが首都の街角に満ち
彼らはサトウキビで作った酒を飲み
「ニカラグア万歳！」と叫んだ

東山カフェ通り沿いの山頂にあるカフェで
火焔木のある山野の風景を見渡しながら
緑の夢を思い描いていた
芳醇なコーヒーを一口啜って
いつの日か私たちの国にも歓声が響き渡るのだろう

在一條叫做東山咖啡的公路
火焰木在遍野的綠色風景點綴熱情的信號
看著藍天下的紅色標誌
我終於了解
爲什麼它在拉丁美洲被視爲革命之花

有一年在尼加拉瓜
從首都馬拉瓜到格瑞那達
沿途的火焰木交織在山野
呼應桑定革命的三十週年
他們的詩歌綻放著紅色花

詩人之國尼加拉瓜
滿山遍野的咖啡園
革命的隊伍在火焰木下咖啡園裡
留下征戰的行跡
向著首都前進

獨裁者蘇慕薩垮台的那一天
革命之花燦爛在藍天之下
咖啡香瀰漫在首都的街巷
他們飲著甘蔗釀成的酒
吶喊著尼加拉瓜萬歲

在東山咖啡公路旁山頂的一間咖啡館
我望著有火焰木的山林風景
想像著綠色的夢
啜飲一口香醇的咖啡
彷彿聽見我們的國度有一天也在狂歡吶喊



Profile

李敏勇　リー・ミンヨン

台湾屏東人。1947年に高雄で生まれ、大学時代は歴史を専攻。現在は台北市民。大学卒業後は文学界に身を投じ、時誌「笠」の編集、「台湾文芸」社長、「台湾筆会」会長などを歴任。著書は「雲的語言」「暗房」「鎮魂歌」、中英対訳時集「思慕與哀愁」などの作品のほか、散文、小説、文学評論、社会評論集など90冊あまりを数える。巫永福評論賞、吳濁流新詩賞、賴和文学賞、第11回国家文芸賞、2022年第4回行政院文化賞受賞。

台南紅記記！アンギギ

～真っ赤な台南～

文・イラスト／Moni_摸你



廟のお祭りで道に並べられる屋外宴会文化「弁桌」の赤い膳

紅記記（アンギギ）は台湾語で「まっかっか」の意味。去年『台南散歩観察日記』を描いた時に台南の裏通りで集めた素材を見ていたらふと赤いものがたくさんあることに気付き、灼熱の太陽も相まって台南の街全体が真っ赤に見えたので「台南紅記記」としてまとめてみた。



生肉に熱々のだし汁を注いだ牛肉スープ



台南で唯一今でも通行可能な古い城門



夏咲き誇るホウオウボクの花



廟前広場のちょうちん



台南の廟の外壁はほとんどが朱色

裏通りの古い家は赤い門扉と赤レンガの壁が多い





裏通りに入ると情熱的な赤い服を着たお婆さんが赤い椅子に座って挨拶をしてくれる



Moni_摸你

台南出身のフリーイラストレーター。日常の中で起こる小さな出来事を観察することに長け、そうした物事を通じて感じたことをイラストや様々な媒材で表現し、作品や物語として人々に紹介している。著書にイラストエッセイの『日本観察日記』、『台南散歩観察日記』がある。Instagram（goodmoni_art）にて他の作品も公開中。

雑誌『FOUNTAIN 新活水』とは

『FOUNTAIN 新活水』の毎号のテーマは社会の脈動と密接に関連しています。文化的観点から、地域・境界・世代を超えて交差する精神を強調し、重要な問題や現象の詳細な討論と発掘を行っています。鮮烈な視覚的美学が魅力の雑誌は文化的対話を構築するための重要なプラットフォームになっています。

 本編は新活水 2024 年 11 月号／ 44 期「有垃圾的人 Lord of the Trash」を再編集したものです。

出入国人数統計

2024
JAN—OCT

訪台旅客総数	6,206,267	(24.55%)
外国人旅客数	4,857,222	(24.32%)
(うち日本人旅客数)	1,021,772	(49.08%)
僑民旅客数	1,349,045	(25.34%)
出国者人数	14,162,490	(46.88%)

* ( ) 内は昨年同期比

表一、2024-2023 年国民出国者数月別統計比較表

月份	2024 年 (単位：人)	2023 年 (単位：人)	比較増減
1	1,281,751	696,474	84.03%
2	1,389,474	652,943	112.80%
3	1,321,971	736,283	79.55%
4	1,347,523	830,184	62.33%
5	1,360,781	877,833	55.02%
6	1,566,852	1,131,234	38.51%
7	1,572,801	1,235,822	27.27%
8	1,547,087	1,182,468	30.84%
9	1,364,271	1,080,168	26.30%
10	1,409,979	1,218,643	15.70%
小計	14,162,490	9,642,052	46.88%
11		1,096,976	
12		1,056,806	
合計		11,795,834	

表二、2024-2023 年訪台旅客月別統計比較表

	2024 年 (単位：人)				2023 年 (単位：人)				比較増減		
月別	合計(A)	僑民(C)	外国人(E)	毎日平均人数	合計(B)	僑民(D)	外国人(F)	毎日平均人数	合計(A/B)	僑民(C/D)	外国人(E/F)
1	589,961	112,753	477,208	19,031	254,359	23,520	230,839	8205	131.94%	379.39%	106.73%
2	648,348	133,863	514,485	22,357	369,098	30,542	338,556	13,182	75.66%	338.29%	51.96%
3	811,608	157,371	654,237	26,181	486,171	78,182	407,989	15,683	66.94%	101.29%	60.36%
4	610,146	114,235	495,911	20,338	553,211	119,421	433,790	18,440	10.29%	-4.34%	14.32%
5	581,748	120,744	461,004	18,766	516,396	115,848	400,548	16,658	12.66%	4.23%	15.09%
6	571,510	137,116	434,394	19,050	509,693	128,513	381,180	16,989	12.13%	6.69%	13.96%
7	539,454	152,030	387,424	17,402	543,388	164,867	378,521	17,528	-0.72%	-7.79%	2.35%
8	616,922	180,113	436,809	19,901	590,458	181,884	408,574	19,047	4.48%	-0.97%	6.91%
9	575,455	116,757	458,698	19,182	538,658	117,996	420,662	17,955	6.83%	-1.05%	9.04%
10	661,115	124,063	537,052	21,326	621,649	115,389	506,260	20,053	6.35%	7.52%	6.08%
小計	6,206,267	1,349,045	4,857,222	20,348	4,983,081	1,076,162	3,906,919	16,391	24.55%	25.34%	24.32%
11					689,105	124,519	564,586	22,970			
12					814,765	174,630	640,135	26,282			
合計					6,486,951	1,375,311	5,111,640	17,772			

表三、2024-2023 年日本旅客月別動態比較表 (居住地別)

	2024 年		比較	2023 年	
月份	人数	毎日平均人数	増減	人数	毎日平均人数
1	95,693	3086	246.64%	27,606	890
2	101,464	3498	121.95%	45,715	1,632
3	151,756	4895	140.82%	63,017	2,032
4	86,587	2886	66.99%	51,851	1,728
5	98,184	3167	26.75%	77,464	2,498
6	76,108	2537	29.51%	58,767	1,958
7	73,734	2379	3.89%	70,975	2,289
8	111,759	3605	14.31%	97,772	3,153
9	109,795	3660	15.94%	94,697	3,156
10	116,692	3764	19.64%	97,534	3,146
小計	1,021,772	3350	49.08%	685,398	2,255
11				119,935	3,997
12				122,902	3,964
合計				928,235	2,543

表四、2024-2023 年国民訪日月別動態比較表

	2024 年		比較	2023 年	
月份	人数	毎日平均人数	増減	人数	毎日平均人数
1	494,657	15,957	85.27%	266,999	8,612
2	503,512	17,362	99.88%	251,909	8,996
3	481,705	15,539	70.07%	283,242	9,316
4	457,209	15,240	55.56%	293,906	9,796
5	464,763	14,992	51.65%	306,471	9,886
6	574,588	19,153	47.06%	390,723	13,024
7	566,497	18,274	32.94%	426,115	13,745
8	553,185	17,845	37.01%	403,759	13,024
9	472,231	15,741	24.03%	380,740	12,691
10	471,981	15,225	11.34%	423,915	13,674
小計	5,040,328	16,526	47.04%	3,427,779	11,276
11				402,161	12,973
12				395,864	12,770
合計				4,225,804	11,578

へようこそ 免税店-エバーリッチ内湖旗艦店

―― 食べる、飲む、遊ぶの旅をお楽しみください



パイナップルケーキ作り＋台湾茶試飲体験



パイナップルケーキ作り体験：

スタップがパイナップルケーキの歴史を紹介します。
お客様は自らパイ生地をこね、厳選した台南関廟（關廟）パイナップルを使用した餡を包みます。
薄皮で、身がたっぷり詰まったパイナップルケーキをギフトボックスに入れて、完成です。



台湾茶試飲体験：

お茶に関する常識や茶葉に関する知識、お茶の淹れ方、お茶の味わい方、お茶を飲み方まで、
台湾の茶文化をわかりやすく紹介します。



台湾極黒牛
太極銷魂 牛肉麺

10種類以上の新鮮な野菜と果物を12時間煮込み、一晩置き、ローストした牛骨と厳選した秘伝スパイスを加えて8時間煮続けた後、赤身と脂身のバランスが絶妙な最高ランクのアメリカンビーフの肩ばら肉を、油で炒めた後、もう一晩寝かせます。
自然乾燥させた、柔らかいのにコシのある手打ち麺と一緒にお召し上がりください。

今すぐ乗車して 食べて遊べる楽しい旅へ

Welcome aboard! Let's begin your journey of dining, drinks, and fun.

Free Shuttle 無料シャトルバス乗り場

Ever Rich Taipei Downtown Store, Neihu Duty Free Shop

免税店-エバーリッチ内湖旗艦店

年中無休 国際高級ブランド、香水、化粧品が1箇所で揃う



路線図 Route map

1. シーザーメトロ台北 <MRT龍山寺駅2番出口> CAESAR METRO TAIPEI <Nearby Longshan Temple MRT Station, Exit 2>
2. ホテルミッドタウン <MRT西門駅5番出口> MIDTOWN RICHARDSON <Nearby Ximen MRT Station, Exit 5>
3. エバーリッチ内湖旗艦店 Ever Rich Taipei Downtown Store, Neihu Duty Free Shop
4. MRT松山駅 <饒河夜市> Songshan MRT Station <Raohe Night Market>

※道路状況により、発車・到着時刻が前後する場合がございます。All schedule will be subjects to change per actual operation and traffic situation.
※シャトルバスサービスは年中無休。自然災害など不可抗力の事態が発生した場合は、台北市政府発令の休業要請に基づき、当日は全面運休といたします。
Free Shuttle bus service is operated year round. It may be suspended full day due to the severe weather conditions. The suspension will be confirmed according to the most updated Official Disaster Prevention Information announced by Taipei City Government, in case of the suspension of office operation due to severe weather conditions.

発車時刻 Departure times

★お買い物前に4Fサービスカウンターにて、ショッピングカードをお受け取りください。
★Please visit "Information Center" first to obtain shopping card.

シーザーメトロ台北 CAESAR METRO TAIPEI	ホテルミッドタウン MIDTOWN RICHARDSON	エバーリッチ 内湖旗艦店 Ever Rich Taipei Downtown Store, Neihu Duty Free Shop
10：00	10：15	11：15
12：00	12：15	13：15
14：00	14：15	14：45
15：40	15：55	17：00
18：10	18：25	19：00

エバーリッチ発の最終便は、MRT松山駅（饒河夜市）が終点となります。
The final departure from Ever Rich Taipei Downtown Store, Neihu, heading to Songshan MRT Station (Raohe Night Market)

everrich dutyfree 昇恒昌
エバーリッチ内湖旗艦店 Ever Rich Taipei Downtown Store, Neihu | 台北市内湖区金荘路129号 No. 129, Jinzhuang Rd., Neihu Dist., Taipei City
お客様ダイヤル Customer Service Lines | (02) 8792-3999
登録方法 エバーリッチ内湖旗艦店情報

JAPAN >>> TAIWAN JAPAN >>> TAIWAN JAPAN >>> TAIWAN



したいことぜんぶ！

ビビビ！台湾



絶品朝ごはんを食べ尽くしたい

TAIWAN
WAVES OF WONDER
台湾観光庁